

教科・科目		情報・情報 I			単位数	2単位	
					対象学年		1学年
担当者	1組	2組	3組	4組	5組		
	教科書	高等学校 情報 I 数研出版					
補助教材	なし						
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する。		問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
科目の目標	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。		様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	情報とメディア	知 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解し、情報を評価・判断するための技能を身に付ける。さまざまなメディアの特徴を理解する。アカウント情報の適切な管理について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とは何か ・情報源と情報の検証 ・情報とメディアの特性 ・CALLシステムへのログオン、インターネット上のクラウドへのアクセス。(実技) 	知 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解でき、情報を評価・判断するための技能を身に付けることができる。さまざまなメディアの特徴を理解できる。ローカルなシステム、インターネット上のシステムに適切にアクセスできる。	〇〇〇	4	
		思 情報の価値や信頼性について、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現する。		思 情報の価値や信頼性について、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現できる。			
		学 情報・メディアについて興味を持つ。		態 情報・メディアについて興味を持っている。			
	情報社会における法とセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 知 情報社会における法規・権利について理解する。セキュリティを脅かす問題を理解し、それに対する技術について理解する。 思 情報を適切に利活用するための法律や個人の責任について考察し、その結果を適切に表現する。セキュリティを脅かす問題に対する適切な対応について考え、判断する。 学 個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たせる。セキュリティを脅かす問題について関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会と法規・制度 ・個人情報の適正な利活用と保護 ・知的財産権 ・情報セキュリティ ・情報セキュリティ対策のための技術 ・情報セキュリティ対策への意識 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情報社会における法規・権利について理解できる。セキュリティを脅かす問題を理解し、それに対する技術について理解できる。 思 情報を適切に利活用するための法律や個人の責任について考察し、その結果を適切に表現できる。セキュリティを脅かす問題に対する適切な対応について考え、判断できる。 態 個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たそうとしている。セキュリティを脅かす問題について関心を持っている。 	〇〇〇	7	
中間考査				〇〇			
情報技術が社会に及ぼす影響	<ul style="list-style-type: none"> 知 情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解している。インターネット上で適切に情報を発信・活用するための知識を身に付けている。インターネット上のトラブルを理解し、それを回避して適切に活用するための知識を身に付けている。 思 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断している。 学 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断している。インターネット上のトラブルへの対策について関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の発展の光と影 ・情報技術の適切な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 知 情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解できる。インターネット上で適切に情報を発信・活用するための知識を身に付け、トラブルを回避して適切に活用するための知識を身に付けることができる。 思 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断できる。 態 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断できる。インターネット上のトラブルへの対策について関心を持っている。 	〇〇〇	4		
	情報のデジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> 知 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解し、デジタル情報の特徴について理解する。ビット・バイトの概念やデジタル情報の量の単位について理解し、基数変換を理解する。文字・音・画像・動画のデジタル化の方法を理解する。決められた時間内に必要な文字を入力し、適切なレイアウトで印刷できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタル ・デジタル情報の表現 ・文字・音・画像・動画のデジタル表現 ・ワープロソフトによる文書入力 	<ul style="list-style-type: none"> 知 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解し、デジタル情報の特徴について理解できる。ビット・バイトの概念やデジタル情報の量の単位について理解でき、基数変換を理解できる。文字・音・画像・動画のデジタル化の方法を理解できる。決められた時間内に必要な文字を入力し、適切なレイアウトで印刷できる。 	〇〇〇	6	

		<p>思 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断し、それぞれの利点・欠点について考え、その結果を適切に表現している。</p> <p>学 数値の情報がデジタル情報としてどのように表されるかについて関心を持つ。</p>	<p>(実技) ・ビジネス文書におけるマナー (実技)</p>	<p>思 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて、適切に判断し、それぞれの利点・欠点について判断し、その結果を適切に表現できる。</p> <p>態 数値の情報がデジタル情報としてどのように表されるかについて関心を持つ。</p>		
	コミュニケーション手段の発展と特徴	<p>知 情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解できる。情報伝達のメディアの性質を理解し、情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信する。</p> <p>思 情報発信の目的や受け手に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。</p> <p>学 情報通信が発達してきた歴史に関心を持つ。情報を発信することや情報伝達のメディアに関心を持ち、情報を適切な方法で発信できる。</p>	<p>・通信とその進展 ・マスコミュニケーションの進展 ・情報の発信とメディアの性質</p>	<p>知 情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解している。情報伝達のメディアの性質を理解でき、情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信することができる。</p> <p>思 情報発信の目的や受け手に応じて情報伝達のメディアを適切に選択できる。情報を発信することや情報伝達のメディアに関心を持ち、情報を適切な方法で発信しようとしている。</p> <p>態 情報通信が発達してきた歴史に関心をもっている。</p>	〇〇〇	3
	期末考査				〇〇	1
2学期	情報デザイン	<p>知 情報を適切な方法でわかりやすく表現する。ユーザインタフェースに関する技術について理解し、ユニバーサルデザイン等についての知識を身に付け、その必要性や重要性、社会に果たしている役割を理解する。</p> <p>思 情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現する。</p> <p>学 人にとって利用しやすいユーザインタフェースについて関心を持ち、バリアフリーやユニバーサルデザインについて関心をもてる。</p>	<p>・情報を表現する方法 ・ユニバーサルデザイン</p>	<p>知 情報を適切な方法でわかりやすく表現することができる。ユーザインタフェースに関する技術について理解でき、ユニバーサルデザイン等についての知識を身に付け、その必要性や重要性、社会に果たしている役割を理解できる。</p> <p>思 情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現できる。</p> <p>態 人にとって利用しやすいユーザインタフェースについて関心を持ち、バリアフリーやユニバーサルデザインについて関心をもっている。</p>	〇〇〇	4
	プレゼンテーション	<p>知 プレゼンテーションとは何かを理解する。プレゼンテーションに用いる機器に対する知識を身に付け、その機器を活用する。</p> <p>思 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考える。</p> <p>学 効果的な資料作成や発表に関心を持ち、積極的に工夫する。</p>	<p>・プレゼンテーションの流れと注意点 ・プレゼンテーション作成ソフトを利用した水ライドショーの作成(実技)</p>	<p>知 プレゼンテーションとは何かを理解している。プレゼンテーション作成ソフトの基本操作ができる。</p> <p>思 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考えている。</p> <p>態 効果的な資料作成や発表に関心を持ち、積極的に工夫している。</p>	〇〇〇	6
	中間考査				〇〇	
	コンピュータのしくみ	<p>知 コンピュータの基本的な構成について理解し、コンピュータ本体のはたらきや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解する。ファイルやフォルダの適切な扱い。コンピュータの内部における数の表現方法について理解する。</p> <p>思 コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について知り、コンピュータの能力について比較する。</p> <p>学 身の回りのコンピュータの本体や周辺装置、ソフトウェアに関心を持ち、性能の比較をする。</p>	<p>・コンピュータの構成 ・コンピュータのソフトウェア ・コンピュータでの数値の内部表現</p>	<p>知 コンピュータの基本的な構成について理解でき、コンピュータ本体のはたらきや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解している。ファイルやフォルダを適切に扱うことができる。コンピュータの内部における数の表現方法について理解している。</p> <p>思 コンピュータの能力を適切に判断することができる。</p> <p>態 コンピュータの本体や周辺装置、ソフトウェアに関心を持ち、積極的に活用しようとする。</p>	〇〇〇	5
	プログラミング	<p>知 プログラムの作成を通して、アルゴリズムやプログラミングの基本を理解する。プログラミング言語と自然言語のちがいについて理解し、実行のしくみについて理解する。</p> <p>思 同じ問題を解決するために複数のアルゴリズムがある場合、アルゴリズムの特性によって性能差があることを理解する。</p> <p>学 意図しない結果が得られたとき、その対処方法について理解する。</p>	<p>・アルゴリズム ・プログラミング言語とは ・プログラミングの方法(実技)</p>	<p>知 プログラムの作成を通して、アルゴリズムやプログラミングの基本を理解できる。プログラミング言語と自然言語のちがいについて理解でき、実行のしくみについて理解できる。</p> <p>思 同じ問題を解決するために複数のアルゴリズムがある場合、アルゴリズムの特性を理解し、適切なアルゴリズムを選択できる。</p> <p>態 意図しない結果が得られたときに、計算の手順などに目を向けて改善しようとしている。</p>	〇〇〇	6
	モデル化とシミュレーション	<p>知 表計算ソフトの基本操作を身に付ける。モデル化の有効性を理解し、シミュレーションの知識を活用し問題解決に活用する。</p> <p>思 適切なモデル化・シミュレーションの方法について考え、判断する。</p>	<p>・表計算ソフトの基本操作(実技) ・モデル化 ・シミュレーション</p>	<p>知 表計算ソフトの基本操作ができる。モデル化の有効性を理解でき、シミュレーションの知識を活用し問題解決に活用する技術を習得できる。</p> <p>思 適切なモデル化・シミュレーションの方法について考え、判断している。</p>	〇〇〇	6

		学 モデル化に関心をもち、実際の問題解決に活用する。		態 モデル化に関心をもち、現実の事象にあてはめて実際の問題解決に活用しようとしている。		
	期末考査				〇〇	1
3学期	ネットワークのしくみ	知 LAN, WAN, インターネットの構造, モバイル通信などに関する知識を身に付ける。プロトコルの必要性や、インターネットのプロトコルは階層に分けて構成されていることについて理解する。通信の秘密を守る必要性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータネットワーク ・通信プロトコル ・パケット通信 ・通信の信頼性 ・IPアドレスとドメイン名 ・WWWのしくみとURL ・情報の暗号化 	知 LAN, WAN, インターネットの構造, モバイル通信などに関する知識を身に付けている。プロトコルの必要性や、インターネットのプロトコルは階層に分けて構成されていることについて理解できる。通信の秘密を守る必要性を理解できる。	〇〇〇	12
		思 インターネットのプロトコルが4階層で構成されていることについて、その理由を理解する。通信の秘密を守るために、どのような場面で暗号やデジタル署名などの技術が必要かを考える。		思 通信の秘密を守るために、どのような場面で暗号やデジタル署名などの技術が必要かを考え、判断している。		
		学 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信に関心をもち、積極的に活用しようとしている。		態 通信の信頼性を高めるしくみに関心をもっている。IPアドレスやドメイン名のしくみに関心をもっている。		
データベース		知 データベースの特徴や機能について理解する。データベース管理システムの機能や、データの損失を防ぐしくみについて理解する。実際に運用されているデータベースや情報システムの例を知り、その特徴や利点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース ・さまざまな情報システム 	知 データベースの特徴や機能について理解している。データベース管理システムの機能や、データの損失を防ぐしくみについて理解している。実際に運用されているデータベースや情報システムの例を知り、その特徴や利点を理解している。	〇〇〇	6
	思 データベースのはたらきや必要性について考察し、その結果を適切に表現する。	思 データベースのはたらきや必要性について考察し、その結果を適切に表現できる。				
	学 身近な情報システムとデータベースの活用について関心をもち、情報システムにおける情報の扱われ方について関心をもち。	態 身近な情報システムとデータベースの活用について関心をもっている。情報システムにおける情報の扱われ方について関心をもっている。				
データの分析		知 データを分析する前に必要な知識である、データのさまざまな形式について理解する。質的データと量的データのちがいについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・データのさまざまな形式 ・データの収集方法 ・データの種類と尺度水準 ・データの分析 ・テキストマイニング 	知 データを分析する前に必要な知識である、データのさまざまな形式について理解している。質的データと量的データのちがいについて理解している。4つの尺度水準について理解している。	〇〇〇	6
	思 データを分析する前に、適切なデータの整理を行う。データの分析によって得られた結果から、どのようなことがわかるか考える。	思 データを分析する前に、適切なデータの整理を行っている。データの分析によって得られた結果から、どのようなことがわかるか考えている。				
	学 データのさまざまな形式について理解する。テキストマイニングの目的について理解する。	態 データのさまざまな形式について関心をもっている。テキストマイニングに関心をもっている。				
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		情報・PC技術演習			単位数	2単位
					対象学年	2学年
担当者		X1	X2			
教科書		なし				
補助教材		令和7年度 問題集 日本語ワープロ検定 3・4級 令和7年度 問題集 情報処理技能検定試験 表計算 3・4級				
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
教科の目標		情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する。		問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
科目の目標		課題の内容を理解し、各種ソフトウェアの操作を行うことができる。		より効率的で短時間で処理できる工夫を自ら探求することができる。		自らの課題に意欲的に取り組み、適切で効率的な処理方法を考えようとする姿勢を持っている
単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態 配当時数
1学期	ワープロソフトの基本操作	知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。	・ワープロ検定3級の内容(文書)罫線、網掛け、下線、文字サイズ、時候の挨拶等通信文書の体裁(速度)10分で300文字	知 10分で300文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。	〇〇〇	15
		思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。		思 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。		
		学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに對して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。		
	中間考査					
表計算ソフトの基本操作	知 表計算ソフトのデータ入力方法、合計、平均の算出の仕方、罫線、中央ぞろえ等の体裁について適切な処理を行うことができるようになる。	・タッチタイピングの練習 ・表計算ソフトの基本操作 SUM関数 AVERAGE関数 IF関数 RANK関数 端数処理	知 表計算ソフトのデータ入力方法、合計、平均の算出の仕方、罫線、中央ぞろえ等の体裁について適切な処理を行うことができる。	〇〇〇	15	
	思 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考えさせる。		思 問題解決のための適切な処理方法について理解を深め処理することができる。			
	学 問題解決の道具としての表計算ソフトに関心を持ちデータ入力、合計、平均の算出、体裁の整え方について興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。			
期末考査				〇〇〇		
2学期	ワープロソフトの発展的な学習	知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。	・ワープロ検定準2級の内容(文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線(速度)10分で350文字	知 10分で350文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。	〇〇〇	15
		思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。		思 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。		
		学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに對して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。		
	中間考査				〇〇〇	
表計算ソフトの基本操作	知 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができるようになる。	・表計算ソフトの発展的な内容 VLOOKUP関数、ネスト、AND、OR、グラフ作成(縦棒、横棒)	知 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができる。	〇〇〇	15	
	思 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考えさせる。		思 問題解決のための適切な処理方法について理解を深め処理することができる。			
	学 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について興味関心を持って知る。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。			
期末考査				〇〇〇		

3学期	ワープロソフトの発展的な学習	知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。	・ワープロ検定準2級の内容(文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線(速度)10分で400文字	知 10分で400文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。	〇〇〇	9
		思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。		思 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。		
		学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに興味関心を持って知る。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。		
	表計算ソフトの基本操作	知 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができるようになる。	・表計算ソフトの発展的な内容 VLOOKUP関数、ネスト、AND、OR、グラフ作成(多様なグラフ)	知 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができる。	〇〇〇	9
思 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考えさせる。	思 問題解決のための適切な処理方法について理解を深め処理することができる。					
学 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について興味関心を持って知る。	学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。					
期末考査				〇〇〇		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	情報 PC技術			単位数	2単位	
				対象学年	3学年	
担当者	Y2					
教科書	なし					
補助教材	令和7年度 問題集 日本語ワープロ検定 2・準2級 令和7年度 問題集 情報処理技能検定試験 表計算 2・準2級					
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
教科の目標	日本語ワープロソフトの効果的な活用方法について理解し、日本語の入力および文書作成能力を身に付けさせる。 表計算ソフトで関数やグラフ作成の機能について理解し活用することができるようになる。		ビジネスシーンで求められる文書作成において情報を的確かつ正確に伝達する方法について思考し、文書を作成することができるようになる。 データをわかりやすく伝えるために適切な方法を選択することができるようになる。		実践的な文書作成、高度な表計算活用に対して向上心を持ち練習に取り組むことができるようになる。 検定取得に向けて目標を持ち意欲的に取り組むことができるようになる。 お互いに教え合い共に向上していこうとする姿勢を身につけさせる。	
科目の目標	ワープロソフトを使いビジネスシーンで活用できる知識と技能を身につけさせる。 表計算ソフトの高度な関数やグラフ作成機能についての知識と技能を身につけ活用することができるようになる。		ワープロソフトを活用し効率的で正確な情報伝達に適した文書を作成することができるようになる。 表計算ソフトを活用し関数やグラフを使い情報を適切に処理しわかりやすく伝達することができるようになる。		ワープロソフト、表計算ソフトを活用しより効率的で効果的な方法を理解し考え抜く姿勢を身につけることができるようになる。 お互いに教え合い共に向上していこうとする姿勢を身につけさせる。	
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	ワープロ2級	知 10分間で450文字打てる。 文書作成の体裁を理解し作成できるようになる。	タッチタイピング ワープロ検定2級(速度・文書)	知 10分間で450文字打てる 文書作成の体裁を理解し作成できる	〇〇〇	8
		思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができるようになる。		思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができる。		
		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。		
	表計算2級	知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけさせる。	表計算検定2級の内容	知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけることができる。	〇〇〇	8
		思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。		思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。		
		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。		
	中間考査				〇〇	
	ワープロ2級	知 10分間で450文字打てる。 文書作成の体裁を理解し作成できるようになる。	タッチタイピング ワープロ検定2級(速度・文書)	知 10分間で450文字打てる 文書作成の体裁を理解し作成できる	〇〇〇	8
		思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができるようになる。		思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができる。		
		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。		
表計算2級	知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけさせる。	表計算検定2級の内容	知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけることができる。	〇〇〇	8	
	思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。		思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。			
	学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。			
期末考査				〇〇		
2学期	ワープロ2級	知 10分間で450文字打てる。 文書作成の体裁を理解し作成できるようになる。	タッチタイピング ワープロ検定2級(速度・文書)	知 10分間で450文字打てる 文書作成の体裁を理解し作成できる	〇〇〇	8
		思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができるようになる。		思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができる。		
		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。		
	表計算2級	知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけさせる。	表計算検定2級の内容	知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけることができる。	〇〇〇	10
		思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。		思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。		
		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。		学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。		
中間考査				〇〇		

	ワープロの発展的な学習	<p>知 10分間で450文字打てる。 デザイン技術を理解し作成できるようになる。</p> <p>思 ソフトの機能を活用し効率的な文書作成とは何かを思考することができるようになる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。</p>	タッチタイピング ワープロ検定2級(速度・文書) 文書デザイン	<p>知 10分間で450文字打てる 文書作成の体裁を理解し作成できる</p> <p>思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。</p>	〇〇〇	10
	表計算の発展的な学習	<p>知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけさせる。</p> <p>思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。</p>	表計算検定準1級の内容	<p>知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけることができる。</p> <p>思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。</p>	〇〇〇	10
	期末考査				〇〇	
3学期	ワープロの発展的な学習	<p>知 10分間で450文字打てる。 デザイン技術を理解し作成できるようになる。</p> <p>思 ソフトの機能を活用し効率的な文書作成とは何かを思考することができるようになる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。</p>	タッチタイピング ワープロ検定2級(速度・文書) 文書デザイン	<p>知 10分間で450文字打てる 文書作成の体裁を理解し作成できる</p> <p>思 伝えたい情報をスムーズに伝達するための方法を思考することができる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。</p>	〇〇〇	4
	表計算の発展的な学習	<p>知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけさせる。</p> <p>思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけさせる。</p>	表計算検定準1級の内容	<p>知 高度な関数、グラフ作成について理解し技術を身につけることができる。</p> <p>思 情報を効率的に伝達する方法を選択することができる。</p> <p>学 目標に向かって向上心を持ち共に教え合う姿勢を身につけることができる。</p>	〇〇〇	4
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度